

1 絵本、読み物

創作態度について

- (1) 子どもに対する正しい愛情があるか。
- (2) 子どもに興味関心のある題材が選ばれているか。
- (3) 子どもの想像力、思考力を伸ばすものがあるか。
- (4) 既成の概念にとらわれず、創意工夫がなされているか。
- (5) 絵と説明文がほどよく調和しているか。
- (6) 子どもの生活のリズムにあったものか。
- (7) 著者の意図する年齢にふさわしいものであるか。

絵について

- (1) 内容を的確に表現しているか。
- (2) 芸術的なかおり高いものであるか。
- (3) 子どもの感覚にあっており、理解しやすいものであるか。
- (4) 子どもを楽しくすることができるか。

文について

- (1) わかりやすく内容を的確に伝えているか。
- (2) 文学的香りの高い文章であるか。
- (3) 内容の展開に不自然さはないか。
- (4) 子どもの理解できる言葉で書かれているか。
- (5) 洗練された用語が用いられているか。
- (6) 文の長さ、リズム、間などについて十分配慮がなされているか。
- (7) 読んだ結果が次の段階へ発展するよう配慮されているか。
- (8) 科学的題材を扱ったものでは、内容が体系的に扱われているか。

創造その他について

- (1) 装丁、用紙などが作品を十分に生かしているか。
- (2) レイアウトが適切であるか。
- (3) 製本はしっかりしているか。

(4) 印刷は鮮明であるか。

2 社会科学読み物の選書

- (1) 知識の伝達や啓蒙の手段になるか。 テーマや内容が新しい
- (2) 最近の科学の成果を反映している。 新しい知識の発見がある
- (3) 科学の方法が明らかにされている。 実証的である。
- (4) 地誌的な環境とそこに住む人間の姿が描かれている。
- (5) 社会のかかわり方として、さまざまなかかわり方があることを明らかにしている。